



展示・啓発コーナー



メモリアル広場では、南丹広域振興局や公立南丹病院、NIT、NPO法人コメリ災害対策センターなど、関係機関の啓発・展示コーナーが設置されました。

京都中部広域消防組合のコーナーでは、起震車による地震体験（写真①）が行われた他、3月11日に発生した東日本大震災へ支援に向いた際に撮影された活動状況などのパネル展示（写真②）が行われました。また、南丹警察署のコーナーでは、水害時などに活用されるゴムボート（写真③）が展示された他、南丹保健所のコーナーでは、心肺蘇生のトレーニングを行う機器が置かれ、来場者が実際に心肺蘇生の方法を確認（写真④）していました。自衛隊のコーナーでは、エンジンカッターなど、災害時などに用いられる資機材（写真⑤）の他、救急車や高機動車など特殊車両4台（写真⑥）が展示されました。

地域防災向上訓練

園部町地域



園部町では、川辺小学校を会場に取り組みました。

一時避難所として指定している各地区の公民館から、船岡区、高屋区、大戸区、越方区の住民ら150人が、消防団員の指示・先導により、収容避難所に指定している川辺小学校まで避難する、避難誘導訓練を実施しました。

川辺小学校へ移動した後は、消火器の取り扱い訓練やバケツリレールによる初期消火訓練を実施した

ほか、AEDを使った心肺蘇生法の体験や非常食（アルファ化米）の試食をしました。

また、消防団が管理するエンジンカッターや油圧救助資機材の使用について説明が行われ、実際に住民の方が金属を切断する体験をしました。

日吉町地域

日吉町では、殿田中学校を会場に取り組みました。